



# 1-【1】資料・情報の提供（貸出し・閲覧・予約・レファレンス）

概要	○一般図書は、国内年間出版点数の5割以上を収集、雑誌や新聞は、2,000タイトル以上の収集を目指します。 ○電子図書館のサービスは、コンテンツの充実や視聴覚資料やデータベース、デジタル化した資料などの電子媒体の資料の充実を図ります。 ○ウェブ・サイトやSNS、チラシ配布、出前図書館のほか、動画やマンガなどの分かりやすいPR活動を実施します。
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

サービス指標	R 5年度 (R6. 3/31現在)	R 8年度目標
	リクエストの受付件数 3,993件	4,000件
電子図書館の閲覧回数(電子雑誌を含む)	71,955回	10万回

## 主な取組 (R5. 4/1~R6. 3/31)

- ①資料の収集・提供
  - ・閲覧型電子書籍サービス「KinoDen」を7月に導入。7/23、3/31館内に電子図書館体験ブースを設け合計300名以上の来館者に周知。その他、1月以降に実施した4つの出前図書館で電子図書館体験会を行い、非来館者にも積極的にPRを行った。
  - ・図書等の購入は、令和4年度と同水準で推移。雑誌は、目標の2,000タイトル以上を確保。
  - ※数値の詳細は、「サービス指標及び主な実績値(資料1)」及び各サービスの進捗管理シートに掲載。
  - ・**県の重点施策「外国人材確保・活躍戦略」に関連する資料を重点的に収集。** 新規
  - ・**外国人材の活動を支援するため、外国人の方向けの本と、周りで支える日本人向けの本を集めた常設展示「高知で「くらす」×「はたらく」を新設。** 新規
- ②貸出し・予約・リクエスト
  - ・8月に全セルフ貸出機をマイナンバーカード及びスマートフォン(オーテピアアプリ)対応に改修。
- ③展示
  - ※各サービスの進捗管理シートに掲載。
- ④利用ガイド
  - ※各サービスの進捗管理シートに掲載。
- ⑤レファレンス
  - ・図書館の広報紙や行政向けメルマガ等に「調べもの案内」の具体例を掲載し、「調べもの案内サービス」の利用を促進。

## 成果と課題 (○: 成果 ■: 課題)

- ①資料の収集・提供
  - 「KinoDen」の導入により、調べものに重点を置いた電子書籍約4,000点(3月末時点)が利用可能となった。
  - GIGAスクール端末の活用と電子図書館の普及のため、高知県教育だより『夢のかけ橋』や行政メルマガ『オーテピア高知図書館通信』、学校訪問等で高知県電子図書館のサービスを周知した結果、郡部の小中学校や私立高校での利用登録が増加した。
  - 常設展示「高知で「くらす」×「はたらく」が報道で取り上げられるとともに、関係機関への周知により広くPRできたことで、利用につながった。**
  - 電子書籍サービスの有用性・利便性を高めていくためにも、継続的な資料費の確保が必要。
  - リサイクル図書の配布
    - 市：NPO法人に絵本、刑務所に一般図書を配布。
    - 県：児童養護施設等に展示期限を過ぎた児童図書選定支援用図書を譲渡。
  - 年間出版点数の5割以上収集の目標達成のためには、資料費の継続的な確保が必要。
  - 県：除籍後の資料等の有効活用のため、児童図書選定支援用図書の譲渡先の拡充が必要。
- ②貸出し・予約・リクエスト
  - マイナンバーカードやスマートフォン(オーテピアアプリ)による貸出が可能となり、利便性が向上した。
- ③展示
  - ※各サービスの進捗管理シートに掲載。
- ④利用ガイド
  - ※各サービスの進捗管理シートに掲載。



電子書籍サービス「KinoDen」体験ブース

## 今後の取組

- ①多様な資料の収集と提供を充実させる。
  - ・電子書籍サービスは、タイトルの充実を図るとともに、各媒体の特徴も踏まえたPRを行う。
  - ・引き続き県内の教育委員会等に対して、学校の教職員や児童・生徒の「高知県電子図書館」への一括登録を働きかける。
- ③※各サービスの進捗管理シートに掲載。
- ④※各サービスの進捗管理シートに掲載。
- ⑤調べもの案内サービスについてのPRを継続。
  - ・レファレンス協同データベースへの情報提供を促進。

## 特記事項など

# 1-【2】情報リテラシーの向上支援

**概要** ○実際に資料や情報を参照することができる図書館のメリットと司書の専門性を生かし、情報社会において求められる情報リテラシーの習得や向上を支援します。

**サービス指標**  
 パスファインダーの提供数  
 データベースの利用件数

R5年度 (R6.3/31現在)	R8年度目標
31種 (簡易パスファインダー13種を含む)	65種
2,863件	5,000件

## 主な取組 (R5.4/1~R6.3/31)

- ① **図書館活用講座の実施**
  - ・情報リテラシー講座として、オーテピアアプリの使い方を説明する初級講座(5月、11月)、図書館のウェブ・サイトで資料を検索する方法を学ぶ中級講座(2月)、データベースを活用して新聞を読み比べる上級講座(9月、小学校高学年~高校生対象)を実施。
  - ・令和5年度高知県・高知市新規採用職員、土佐リハビリテーションカレッジ学生、高知市防災福祉部会(市職員、市社協職員)、高知中央高校看護学科生徒、山田高校グローバル探究科生徒等、団体向けの図書館活用講座を多数実施。
  - ・(株)日本政策金融公庫主催「高校生ビジネスプラン・グランプリ」に応募するためのプラン作成講座(8/18、8/23)を実施。
- ② **利用ガイド(パスファインダー、ガイドブック等)の作成・提供**
  - ・ティーンズ向け簡易パスファインダー「ぼけぱす」を含め計31種のパスファインダーを提供中。
- ③ **連携事業等での情報リテラシー向上支援の実施**
  - ・学校等の図書館見学や職場体験の際に、情報リテラシーに関する説明を行ったほか、連携事業や出前図書館等で図書館の活用方法を説明。
  - 例：令和5年度子育て講演会(高知県心の教育センター主催)

## 成果と課題 (○：成果 ■：課題)

- ① **図書館活用講座の実施**
  - 情報リテラシー初級講座では、アプリを自分では使い始めることができない方、機能を知らない方へのアプリの導入支援ができた。
  - 情報リテラシー上級講座では、データベースの有用性や、発信元の違いによって情報の見せ方も変わることなどを、参加者に紹介することができた。
  - 団体・高校向けに講座を行うことにより、受講者が必要とする情報に特化した説明ができた。
- ② **利用ガイド(パスファインダー、ガイドブック等)の作成・提供**
  - 動画「図書館フル活用講座」を作成(6本)・公開(4本)したことにより、レシートの見方や予約・リクエストの方法、ブックリストの活用等、情報リテラシー講座だけでは紹介できない内容について情報発信ができた。
  - パスファインダーについては、令和8年度目標(65種)に向け、提供数をより一層増やす必要がある。
- ③ **連携事業等での情報リテラシー向上支援の実施**
  - 図書館見学や職場体験等において、情報資源へのアプローチやハンドリング能力、情報の評価能力について学ぶ機会を提供できている。
  - 各サービスの連携事業や出前図書館に加え、オーテピアの貸室等で行われるイベント等においても、図書館の活用方法についてのPRができている。

## 今後の取組

- ① ・初級講座は、少人数制で回数を年6回(隔月)に増やして実施する(5月~)。  
 ・上級講座は、ヘルス・リテラシーをテーマとして実施する方向で企画案を作成する。
- ② ・情報リテラシー向上支援の会において、パスファインダーの作成作業やアイデア出しのサポート、進捗状況の見える化等に取り組む。  
 ・情報リテラシー講座(中級)の内容を動画化し、公開する。
- ③ ・各サービスの担当部署において、引き続き連携事業の中で図書館活用講座等を行い、利用者の情報リテラシー向上に取り組む。



情報リテラシー中級講座



こんなブックリストがあるんですね。

図書館フル活用講座動画

## 特記事項など



## 2-【1】ビジネス支援サービス

**概要**

- 経済や経営、就業、起業、転職等、課題解決に役立つ6～7万冊の書籍、専門誌、データベース等のビジネスに関連する資料・情報を提供します。
- 気軽に相談できるビジネス支援デスクを設置し、担当司書が、情報収集や調べものをサポートします。
- ビジネスに役立つ講座や相談会等を専門機関等と連携して開催するとともに、図書館活用講座等を実施します。

サービス指標	R5年度 (R6.3/31現在)	R8年度目標
ビジネス・農業・産業支援分野でのレファレンス件数	1,213件	2,400件

### 主な取組 (R5.4/1～R6.3/31)

- ① 図書館の収集・提供**
  - ・分館・分室にビジネス分野の本を提供(コテピア)。**新規**
  - ・高知銀行やBASE CAMP IN KOCHIなどへの団体貸出を実施。
  - ・スペース内の常設展示場所を、関係機関と連携した展示等を行う場所に変更。
- ② アウトリーチ・サービスの実施**
  - ・県市の産業、農業、観光等の担当課を訪問し、図書館活用について説明。
- ③ ビジネス支援サービス活用講座の実施**
  - ・県商工会連合会職員の職員研修において、図書館活用講座を実施。(8/4) **新規**
  - ・まちづくりトークcaféで館内ツアー、ワークショップを実施。(9/12) **新規**
  - ・ものメッセでレファレンスやデータベースについて関連団体や企業にPR。(11/9-11)
  - ・土佐MBA専科講座を開催。(2/2)
  - ・「高知市おためし地域おこし協力隊体験ツアー」でサービス説明を実施。(2/11)
- ④ 他機関と連携したセミナー・相談会等の事業の実施**
  - ・まちかど就農相談、若者サポートステーション進路相談会(毎月)
  - ・J-PlatPat操作方法講習会&臨時相談窓口inオーテピア(12/6、1/10)

### 成果と課題 (○：成果 ■：課題)

- ① 図書館の収集・提供**
  - 分館・分室での展示により、**地域の利用者がビジネス分野の資料を手に入る機会を増やすことができた。**月平均約150冊の利用があり、好評を得ている。
  - 団体貸出を通して、連携強化や専門書の活用を促すことができた。
  - 関係機関との連携展示が実施しやすくなり、連携強化や資料の活用促進につながった。
- ② アウトリーチ・サービスの実施**
  - **高知県中小企業団体中央会の機関紙への当館紹介記事の掲載やレファレンス・サービスなどの利用につながった。**
  - 関連団体や企業、ビジネス関係の課に、レファレンス・サービスやデータベースを知っていただくことができ、サービスの利用増につながった。
  - 県市の担当課、連携機関へのサービス説明の機会を増やす必要がある。
- ③ ビジネス支援サービス活用講座の実施**
  - 県商工会連合会などの支援機関に、ビジネス支援サービスをPRすることができた。
  - 土佐MBA専科講座受講者からは「こんなすごいサービスがあるなんて知らなかった」「ぜひ今後も利用したい」等の声も多く寄せられ、その後のレファレンス・サービスやデータベースの利用につながった。
- ④ 他機関と連携したセミナー・相談会等の事業の実施**
  - 各種相談会の開催により、主催者や参加者に図書館の活用についてPRできた。
  - 相談会等での図書館の資料やサービスについて一層活用を促す必要がある。

“開館5周年”特集  
オーテピア高知図書館の  
ビジネス支援デスクを  
活用して事業計画を作ろう！

高知県中小企業団体中央会  
『へんしも情報』vol.270(抜粋)

出前図書館「企業のための  
職場環境づくりセミナー」

土佐MBA専科講座  
「図書館をビジネスに生かす」

### 今後の取組

- ① 利用者ニーズの把握とPR方法について検討。  
・高知みらい科学館と連携した長期展示を実施。
- ② 県市の担当課、連携機関への訪問やイベント時に、ビジネス支援サービスについてPRする。  
・高知県産業振興センターなどの関係機関への訪問を行う。
- ③ 土佐MBA専科「図書館をビジネスに生かす」を実施。(2/7)
- ④ まちかど就農相談、若者サポートステーション進路相談会(毎月)  
・J-PlatPat操作方法講習会&臨時相談窓口inオーテピア  
・ジョブカフェこうち 出張相談会(7/6)

### 主な連携先

高知県中小企業団体中央会、高知県商工会連合会、こうち若者サポートステーション、県農業担い手支援課、市地域活性推進課、市産業政策課、市地域コミュニティ推進課、放送大学高知学習センター、高知銀行、ジョブカフェこうちなど

### 特記事項など

・パスファインダー改訂(1種類)

## 2-【2】健康・安心・防災情報サービス

### 概要

- 健康・福祉・防災等の分野の課題解決につながる資料・情報を提供・発信するとともに、図書館の活用方法を積極的に周知します。
- 専門機関等との連携によるイベントの開催、チラシ・パンフレットの配布や企画展示を行うことにより、利用者に情報を提供します。

### サービス指標

健康・安心・防災情報分野でのレファレンス件数

R 5年度 (R6. 3/31現在)	R 8年度目標(見直し前)
1,114件	2,000件(1,600件)

### 主な取組 (R5. 4/1~R6. 3/31)

#### ① 図書館の収集・提供

- ・専門機関と連携し、発達障害、難病、防犯等をテーマにした図書展示を実施。
- ・図書展示「医療・介護従事者等応援フェア」を長期で実施(5~10月)。
- ・分館・分室で実施中の資料活用展示(コテピア)の健康・安心・防災分野のテーマ数を追加。
- ・利用者がパスファインダー等を手に取りやすくなるよう、置き場所を変更。
- ・認知症の人と家族の会(高知支部)の要請を受け、「認知症」に関する図書一覧を提供。

#### ② 他機関と連携したセミナー・相談会等の共催事業の実施

- ・**第38回医学情報サービス研究大会(MIS)で取組事例を発表。** **新規**
- ・「ひきこもりピア相談会」を4回、10月に「がん相談会2023 in オーテピア」を開催。
- ・高知大学医学部附属病院等と共催イベントを開催。 **新規**
- ・高等学校看護学科等の生徒を対象に図書館活用講座やデータベース活用講座を実施。

#### ③ アウトリーチ・サービスの実施

- ・市地域福祉活動推進計画の防災福祉部会勉強会に市全域サービス担当と共に参加し、図書館活用講座とサービス紹介を実施。
- ・バリアフリーサービス担当と協力した「高知ふくし機器展」(11/18~19)他、出前図書館を複数回実施。 **新規**

#### ④ 広報支援

- ・9月に市介護保険課と連携した「介護カフェ」等のイベントの他、連携展示、パネル展を通して、専門機関の啓発事業等の周知に協力。

### 成果と課題 (○：成果 ■：課題)

#### ① 図書館の収集・提供

- 展示について、医療関係の利用者から「本当に有難かった。医療・看護関係の友人たちも心強かったと思う」等の声があり、これをきっかけにサービスのPRができた。
- 展示本を連携先と共に選ぶことで、より利用者に必要とされる情報を提供できた。
- 活用展示は分館・分室から絶えず依頼があり、月報にも好評の声が寄せられた。
- 関係機関やイベント等へ積極的に提供する等、利用促進のためのさらなる工夫が必要。
- 最新情報を提供するため、必要に応じて随時、ブックリスト等の更新が必要。

#### ② 他機関と連携したセミナー・相談会等の共催事業の実施

- **MISでは県内外の参加者から「様々なテーマでいろいろな団体と連携してやっているのがすばらしい」といったお褒めの言葉を多数いただいた。**
- 相談会の開催により、支援を必要とする利用者や相談窓口をつなぐことができた。
- 活用講座では、学校から「今後も引き続き講座をお願いしたい」との声があった。
- 共催イベント開催時にサービスPRの時間を確保し、図書館の活用方法を周知できた。
- 共催事業のより良い運営のため、関係機関への丁寧な説明と相互理解が必要。

#### ③ アウトリーチ・サービスの実施

- 市の所属をまたがる横断的な会に参加することで、様々な関係部署に対して、図書館の活用、サービス及び担当者を一括で紹介できた。
- アウトリーチ・サービスを行うことで、図書館に来たことがない県民に対しても、図書館のPRができた。
- バリアフリーサービスやティーンズ・サービス等、他のサービスの課題を意識し、情報共有しながらサービスを提供できた。

#### ④ 広報支援

- 県や市、専門機関の取組について広報できた。
- 専門機関と共に展示資料を選定することで、利用者に信頼性の高い情報を提供できた。
- 専門機関から、広報活動のために連携図書展示を実施したいという要請が多数あった。



図書展示「医療・介護従事者等応援フェア」



高校生向け活用講座



イベントでの出前図書館

### 今後の取組

- ① ブックリスト等の提供により、県民・市民、専門機関、行政の各所属及び機関に対する図書館活用の周知を継続的に実施。  
・引き続き利用者の情報ニーズを把握し、収集した資料の活用を促進。  
・QRコードをつける等、パスファインダーとブックリストの相互参照を可能にする。
- ② 専門機関と連携して事業を実施。  
・「ひきこもりピア相談会」(開催予定6/2、11/3、3/2)  
・「がん相談会」(開催予定10/6、16、26)
- ③ 引き続き他のサービスとの情報共有を意識したサービスの提供。
- ④ 広報支援を通して専門機関等との関係を深め、利用者への専門的な情報提供につなぐ。

### 主な連携先

県地域福祉政策課、県立精神保健福祉センター、市地域共生社会推進課、市健康増進課、高知市社会福祉協議会、土佐リハビリテーションカレッジ、高知医療センター、高知大学医学部附属病院、高知産業保健総合支援センター、高知県精神保健福祉協会

### 特記事項など

- ・ブックリスト「ヤングケアラー」は、高知県ウェブサイトに掲載された。
- ・防災関連展示「備えましょう。」を国内での地震発災等をきっかけに3回実施。(9月、1月、3月)



## 2-【3】行政支援サービス

### 概要

- 高知県庁と高知市役所の職員が、行政運営や政策立案を行う際の情報収集、調べものを図書館司書がサポートします。
- 数多くの方が来館する強みを生かし、各組織・機関と連携した講座・イベントの開催やパンフレット等の配布を行い、行政の政策・施策の推進を支援します。

### サービス指標

図書館と連携した課題解決支援のための図書館サービス説明等の実施

R 5年度 (R6. 3/31現在)	R 8年度目標
20回	56回

### 主な取組 (R5. 4/1~R6. 3/31)

※個別サービスでの取組は各サービスのシートに掲載

#### ①各組織・機関への貸出し

- ・高知市立学校教職員向け(高校除く)の団体貸出しの運用を開始。5月の校長会にて周知。

#### ②図書館活用講座等の実施

- ・こうち人づくり広域連合及び県人事課主催の新採職員研修に活用講座の動画を提供。
- ・こうち人づくり広域連合「政策研究共同研修」、市「防災福祉部会」などで活用講座を実施。
- ・出前図書館「出張！オーテピア高知図書館 in高知市役所」実施。(1/10) 新規

#### ③図書館活用事例の広報

- ・行政各課向けサービスやおすすめ資料、レファレンス、広報協力などに関する図書館活用事例をメルマガ等で周知。

#### ④各組織・機関と連携した取組の実施

- ・各サービスにおいて、関係機関と連携して定期相談会や連携展示、ブックリスト作成等を実施。
- ・県市の産業、農業、観光等の担当課を訪問し、図書館の活用について説明。
- ・「まちかど就農相談」の周知促進のためPRチラシを刷新。のぼり旗を設置。
- ・市地域共生社会推進課等と連携し、フードドライブを実施。(11/21~12/1) 新規
- ・県市広報紙の特集記事に合わせて関連本を展示。(8/13~8/30) 新規

### 成果と課題 (○：成果 ■：課題)

#### ①各組織・機関への貸出し

- 高知市立学校教職員向け(高校除く)の団体貸出しの開始に伴い、小中学校9校の利用があった。学校教職員の業務や授業研究に役立つ資料の提供につながった。
- 高知市立学校教職員向け(高校除く)の団体貸出しの周知が不足。また、従来の学校向けの団体貸出しとの区別が必要。

#### ②図書館活用講座等の実施

- 研修後のアンケートで「業務目的でも図書館を利用できることを初めて知った。今後は利用したい」という声が多かった。
- 各サービスでの取組により、関係部署とサービス担当者がつながりを持つことで、図書館の活用を促進する環境が整いつつある。

#### ③図書館活用事例の広報

- メルマガを月2回に分けて発行することにより、月1回発行の時よりも、サービスや活用事例などを効果的かつ充実した内容でPRできた。
- 市役所での出前図書館の実施により、貸出しやレファレンス、データベース等のサービス周知につながった。(当日貸出:107冊、DB利用:10件、レファレンス:9件)

#### ④各組織・機関と連携した取組の実施

- 各課への訪問や連携をきっかけに、レファレンスや利用登録、連携展示等が増加した。また、従前からの関係づくりによって、職員の異動先とも連携できた。
- 連携により各組織・機関との相互理解が深まったことで、ニーズの高い事項について正確な情報が提供できるようになり、課題解決に貢献できた。
- 連携先が進める取組への協力により、高知市型共生社会の実現に寄与した。
- 広報紙の特集に合わせた展示を行うことで、県市が力を入れている施策について適切なタイミングで情報提供することができた。
- 継続的な取組ができるように、今後も各組織・機関との連携を深める必要がある。



政策研究共同研修



地域共生社会推進イベント



市役所での出前図書館



県市広報紙特集記事関連本の展示

### 今後の取組

- ①・利用が多い部署については、ニーズの高い事項を把握し、選書等に生かす。利用の少ない部署にはPRを継続的に実施。
- ②・市役所での出前図書館などイベントや展示等の取組を通じて、関係組織・機関との連携を深めていく。
- ④・広報紙の特集に合わせた展示の継続実施。(R6. 5/1から実施)

### 主な連携先

- 県：人事課、農業担い手支援課、新規就農相談センター、計画推進課、雇用労働政策課、住宅課、精神保健福祉センター、地域福祉政策課、高知県警察本部
- 市：健康増進課、地域コミュニティ推進課、地域共生社会推進課、観光魅力創造課、地域活性推進課、総務課、観光企画課、農林水産課、商業振興・外商支援課、産業政策課
- その他：こうち人づくり広域連合

### 特記事項など

- 令和5年度から行政レファレンスの統計をとる仕組みを構築。  
令和5年度レファレンス件数：58件

## 2-【4】高知県関係資料の収集・保存・提供

<b>概要</b>	○高知県に関係する資料を網羅的に収集し、各方面の利用に供するとともに、資料を生かし、県民・市民、観光客、移住希望者等に向けて情報発信します。 ○貴重資料をはじめとするニーズの高い資料のデジタル化を進め、ウェブ・サイトで公開します。
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<b>サービス指標</b> 高知県関連のレファレンス件数	R 5年度 (R6. 3/31現在)	R 8年度目標
	2,597件 (事項: 1074、所蔵: 1523)	4,400件

**主な取組 (R5. 4/1~R6. 3/31)**

- ①高知県にとって必要な資料の収集**
  - ・「こうちミュージアムネットワーク」地域資料部会と連携して、県内資料の保存状況等の情報を共有。
- ②図書以外の資料の収集**
  - ・展示コーナーで県内市町村を紹介するため、各市町村へ観光パンフレット等の寄贈を依頼。
  - ・県や市町村へ提供可能な行政文書等の資料の寄贈を依頼。
  - ・デジタル情報の収集と保存を実施。また、その方法について先行事例等の情報を収集。
- ③貴重資料等のデジタル化**
  - ・県立図書館所蔵の「田岡典夫文庫」、寺石正路ゆかりの資料等125点をデジタル化。
  - ・「田村利親文庫」等の目録作成。
  - ・市民図書館所蔵の「武吉孝夫写真文庫」等のデータ化。
- ④デジタル化された貴重資料の提供**
  - ・**収集品検索データベースとジャパンサーチの連携作業。** 新規
  - ・展示室で貴重資料の複製パネル展示を実施 (11/19~12/28)。
  - ・NHK連続テレビ小説「らんまん」放送に合わせ、**牧野富太郎博士に関する貴重資料のデジタル画像を使用したパネルを作成し、展示。**
  - ・「松野尾家資料」「長瀬家資料」「森家旧蔵資料」の日記類など126点を「高知県立図書館デジタルギャラリー」で公開。
  - ・高須小学校へ出張し、**貴重資料の画像を使った社会科の授業を実施。** 新規

**成果と課題 (○: 成果 ■: 課題)**

- ①高知県にとって必要な資料の収集**
  - 県民・市民から提供された貴重な資料について、「こうちミュージアムネットワーク」と共に保存場所や受入先を検討したことで、貴重資料の散逸を防いだ。
  - 県内の文化施設等では、収蔵スペースに余裕がないことやマンパワーが十分でないこと等から、貴重な資料の受入れには限界がある。
- ②図書以外の資料の収集**
  - **県内市町村の観光情報などを紹介展示することで、市町村情報の発信と各市町村が作成した資料の収集につながった。**
  - ボーン・デジタルの資料(初めからデジタルデータとして作成されたもの)の収集・提供について方針等が定まっておらず、引き続き検討が必要。
- ③貴重資料等のデジタル化**
  - 「田村利親文庫」及び「田村利親関係資料」、「海南学校旧蔵図書」の目録データを、ウェブ・サイトで公開した。
  - 武吉孝夫写真文庫の約9割の資料について、書誌・画像のデジタル化完了。
  - 写真の画像公開にあたっての、肖像権に関するルールづくりが必要。
- ④デジタル化された貴重資料の提供**
  - **収集品検索データベースと、国立国会図書館サーチおよびジャパンサーチとの連携を開始した。**
  - 展示室で貴重資料の複製パネル展示を実施 (11/19~12/28)。
  - 牧野富太郎博士に関する**デジタル画像を使用したパネルを展示することで、オーテピア高知図書館で保存する貴重資料をPRできた。**
  - 「高知県立図書館デジタルギャラリー」において、『順水日記巻之一(卑家月書外之部一)』の翻刻文を公開した。
  - **高須小学校3年生に、「高知市と高須のうつりかわり」というテーマで貴重資料の画像を交えつつ社会科の授業を行い、好評を得た。**



県内市町村の紹介展示

**今後の取組**

- ①・「こうちミュージアムネットワーク」と連携し、小規模館や個人宅にある資料原本の保存を支援。
- ②・市町村の紹介展示を継続的に実施。  
・ボーン・デジタルの県行政資料の収集・提供方法について、県庁内のワーキンググループに参加し協議する。
- ③・「武吉孝夫写真文庫」ほか、所蔵資料のデジタル化。
- ④・高知県立図書館デジタルギャラリーにおいて、『順水家記』の翻刻文を公開。  
・収集品検索データベースで、デジタル化した資料の公開準備。  
・3階展示室において、デジタル画像を用いたパネルの作成と展示。  
・写真等の公開にあたっての肖像権に関するルールづくりの検討。

**主な連携先**  
こうちミュージアムネットワーク

**特記事項など**

- ・県史編さん事業への協力。
- ・高知県観光コンベンション協会が実施したNHK連続テレビ小説「らんまん」関連の展示に協力。



# 3-【1】児童サービス

## 概要

○子どもたちの心や成長に寄り添い、豊かな読書経験を培う手助けをするとともに、生涯学習の基礎となる情報リテラシーの向上を図ります。  
○子育てに関わる大人や、子どもの読書活動を支える大人に対する支援を行います。

## サービス指標

こどもカウンターの  
レファレンス件数

R5年度 (R6.3/31現在)	R8年度目標
3,405件	7,900件

### 主な取組 (R5.4/1~R6.3/31)

- ①情報リテラシーの学習機会の提供**
  - 本の分類や並べ方について説明する図書館見学を継続して行っている。
  - 土佐リハビリテーションカレッジとの共催イベント「バランス能力をパワーアップ!」に合わせて、子ども向けパスファインダーを新規作成し、配布。
- ②子どもと本を結びつける活動の実施**
  - 季節に合わせたブックリストを作成し、配布。
  - 共催する複数のイベントで、出前図書館やサービス説明を行い、子どもたちにPRした。
  - 「こどもの本の講演会」を実施。(2/18)
  - 令和6年度の教科書改訂に伴い、学校向けに作成した団体貸出セットの内容を更新した。
- ③保護者やボランティアなどへの読み聞かせなどの普及**
  - 「ストーリーテリング勉強会」などを定期的に開催。
  - 「大人のためのおはなし会」を開催。
  - 高知学園短期大学の学生ボランティアと連携。
  - 市子ども育成課主管の親子絵本ふれあい事業の本の配布場所として協力を継続。
  - 須崎市立図書館で「どこでも研修・読み聞かせ基本講座」を実施。
- ④子育て支援に関連する資料や情報の提供**
  - 「子育て応援コーナー」を拡充し、配架する図書・雑誌を増やした。
  - 連携先と講演会の共催や図書展示を実施。

### 成果と課題 (○：成果 ■：課題)

- ①情報リテラシーの学習機会の提供**
  - 子ども向けパスファインダーの2件目を作成し、イベント会場と館内で配布。1件目と併せてウェブ・サイトに掲載し、情報リテラシー向上の機会を提供できた。
  - 図書館見学に来られない子どもたちが、自宅や学校からでも図書館の使い方を学べるような機会を設けることが必要。
- ②子どもと本を結びつける活動の実施**
  - 「なつやすみのヒント」「お正月」のブックリストを作成。イベント会場、学校、館内等での配布や、ウェブ・サイトへの掲載で、利用促進につながった。
  - 「おはなしのへや」周辺書架の常設展示「読み継がれた絵本」のコーナーを「赤ちゃん絵本」「日本の絵本」「外国の絵本」「はじめての読み物」の4ブロックに拡充し、長く読み継がれている良書に子どもたちが出会える機会を増やした。
  - 「こどもの本の講演会」に47名の参加があった。よい学びの機会になったと好評だった。
  - 教職員向けの団体貸出を開始したが、これまでの団体貸出との区別が十分に認識されておらず、教職員にサービスを直接説明できるような取組が必要。
  - 児童図書選定支援コーナーを利用する団体が限られており、各方面へのPRが必要。
- ③保護者やボランティアなどへの読み聞かせなどの普及**
  - 学生ボランティアによるおはなし会の開催、本の修理、壁面飾りの活動を継続して行っており、自発的に企画を考えるなど、学びの機会となっている。
  - 県内の市立図書館からの要望を受け、ボランティア活動をしている方を対象とした読み聞かせ基本講座を行い、人材育成を支援した。
- ④子育て支援に関連する資料や情報の提供**
  - 「子育て応援コーナー」の場所を雑誌と図書に分け、場所を拡充した。2階総合カウンター前の図書コーナーは目につきやすく、利用の増加につながっている。



「読み継がれた絵本」コーナーの拡充



学生ボランティアによるおはなし会の様子



子育て応援コーナーの拡充

### 今後の取組

- ① 図書館見学に来られない学校に対して、オンラインで図書館の使い方を学べる仕組みを検討。
- ② 定例の行事を継続して実施。
  - ・「こどもの本の講演会」を継続して実施。
  - ・教職員向けに、団体貸出の活用を周知する取組を検討。
- ③ 高知学園短期大学の学生ボランティア活動のサポートを継続して実施。

### 主な連携先

高知こどもの図書館、市子ども育成課、高知県心の教育センター、高知市市民活動サポートセンター、ジョブカフェこうち、高知学園短期大学

### 特記事項など

- ・「高知県立文学館」「高知まんがBASE」「高知こどもの図書館」のコーナーを継続して設置し、周辺の文化施設の回遊に寄与。
- ・共催イベント等を継続して実施。

# 3-【2】ティーンズ・サービス

## 概要

○ティーンズ世代の多様な興味・関心に応える本や学習内容を深めることができる本などを提供します。  
○イベント・企画展示の実施やPR活動などにより、図書館利用のきっかけづくりと読書機会の創出に取り組みます。

## サービス指標

ティーンズからの投稿件数

R 5年度 (R6. 3/31現在)	R 8年度目標
21件	50件

## 主な取組 (R5. 4/1~R6. 3/31)

- ①ティーンズを主体とした読書普及活動の実施
  - ・「オーテピアティーンズ部」の自主企画であるリレー小説を継続して実施。
  - ・パネル展示「高知県立高知小津高等学校創立150周年記念事業」(8/31-9/13)を実施。
  - ・中村中学・高校(3/1-4/30)、安芸高校(9/1-10/31)、高知中央高校(11/1-11/30)、高知国際高校(11/1-12/28)、中村高校(1/5-2/28)との連携展示を実施。
  - ・全国高等学校ビブリオバトル2023高知県大会(11/23)を開催。
- ②情報リテラシーの学習機会の提供
  - ・提供中のパスファインダーの内容を改訂。
  - ・山田高校の生徒に図書館活用講座を実施。内容は図書館の活用やMieNaの使い方の講座、館内見学ツアー、参考図書の提供など。
  - ・(株)日本政策金融公庫主催「高校生ビジネスプラン・グランプリ」に応募するためのプラン作成講座(8/18、8/23)を実施。
- ③他機関と連携した取組の実施
  - ・令和5年度第1回教育支援センター連絡協議会(5/31)で情報提供を実施。
  - ・「高校生ビジネスプラン・グランプリ」プラン作成講座の関連展示「未来の起業家である君へ」(6/1-6/30)を実施。
  - ・高知市教育支援センターにて、中学生16名を対象とした出前講座『クリスマスPOPづくり』を実施。成果物と本の展示『クリスマスPOPツリー』(12/2-12/28)を実施。

## ④ブログ、SNSの活用

・ティーンズ部員から投稿された本の紹介文やイラストをFacebook、Instagramに掲載。

## 成果と課題 (○：成果 ■：課題)

- ①ティーンズを主体とした読書普及活動の実施
  - 第4回までリレー小説を実施。部員からは「読む人によって解釈が分かれていくのが感じられてすごく面白い」等の感想が寄せられている。
  - 出来上がった小説はティーンズ部員限定で公開しているが、ティーンズ部についてPRを行い、より活発な活動の展開につなげるため、公開範囲の拡大についての検討が必要。
- ②情報リテラシーの学習機会の提供
  - 山田高校の生徒への図書館活用講座は、MieNaの使い方講座と館内見学ツアーが特に好評であり、図書館の利用促進につながった。
  - 「高校生ビジネスプラン・グランプリ」プラン作成講座では、ビジネスプランの作り方や、データベースを含む図書館資料の活用方法を紹介。高校生の将来に役立ち、図書館の利用につながる内容となった。講座に参加した高知工業高等専門学校のチームが、第11回「高校生ビジネスプラン・グランプリ」にて高知県初のセミファイナリスト賞(ベスト20プラン)に選出された。



山田高校の生徒への図書館活用講座



展示「未来の起業家である君へ」



「高校生ビジネスプラン・グランプリ」プラン作成講座

## ③他機関と連携した取組の実施

■ 多様な事情を抱えるティーンズに、図書館に親しみを感じてもらうための取組について検討が必要。

## ④ブログ、SNSの活用

■ ティーンズ部員やティーンズ世代の利用者からの投稿を増やす方法について検討が必要。

## 今後の取組

- ① 今後もリレー小説を継続実施予定。公開範囲の拡大については継続検討。
- ・7~8月に県・子育て支援課、高知県思春期相談センターPRINK(プリンク)と連携展示を実施予定。
- ② 清和女子高校、山田高校の生徒への図書館活用講座の実施(令和6年度予定)。
- ・高校訪問などの機会に、教職員や生徒向けの図書館活用講座についてPRを実施。
- ③ 高知県心の教育センターなどの関係機関との繋がりを維持し、多様な事情を抱えるティーンズに図書館サービスを届ける方法を考える。
- ④ 職場体験学習等で来館するティーンズにも本の紹介などの寄稿を呼び掛ける。

## 主な連携先

高知県心の教育センター、高知市教育研究所、日本政策金融公庫

## 特記事項など

・支援協力担当と県立図書館長の高校訪問に同行し、サービスの説明を実施。(7校)



# 3-【3】多文化サービス

**概要**

- 日本語を学習するための資料のほか、地域で生活するためのさまざまな情報や知識を、外国語やさしい日本語で提供します。
- 異文化を知るきっかけや、多様化する高知県在住の外国人の生活に役立つ情報を提供します。

**サービス指標**

ブックリストやパスファインダーの提供数

R 5年度 (R6. 3/31現在)	R 8年度目標
23種	31種

## 主な取組 (R5. 4/1~R6. 3/31)

- ①資料の収集・提供**
  - ・関係機関に働きかけて、イベント等で出前図書館や図書館のサービスチラシの配布等を行い、サービスや所蔵する資料をPR。
  - ・「姉妹・友好都市」の常設展示。
- ②情報活用のサポート**
  - ・在留外国人向けに図書館活用講座、やさしい日本語図書館ツアーを実施。
  - ・**外国人の方向けの本と、周りで支える日本人向けの本を集めた常設展示「高知で「くらす」×「はたらく」」を新設。** 新規
  - ・**外国人向けの活用事例まんがを作成。** 新規
  - ・SNSでやさしい日本語を使った広報を実施。
  - ・利用者が資料を探しやすくするため、外国語資料の書架に棚差し板を追加。
- ③他機関等との連携**
  - ・高知県国際交流協会セミナー受講者へのPR、高知工科大学留学生に向けたチラシ配布、メルマガ配信を実施。
  - ・国際交流員のおすすめ本を継続して展示。
  - ・グローバルキャリアフェアinこうち、外国人材確保・活躍ガイドブック説明会等に出展。
  - ・「戦略」に係る新規予算に基づき、市町村立図書館等から要望のあった資料を収集・提供。
- ④各種催しなどの実施**
  - ・県文化国際課、市総務課との連携事業や、多文化理解講座として音読教室等を多数実施した。こどもを対象に「HELLO WORLD外国語のおはなし会」等を実施。

## 成果と課題 (○：成果 ■：課題)

- ①資料の収集・提供**
  - 関係機関からのレファレンス依頼や、各種事業での図書館資料の積極的な活用があった。
  - 在留外国人が多く、特に必要と思われる外国語資料（ベトナム語、中国語、インドネシア語）について、国際交流員に協力を依頼し選書をしたことで蔵書の充実につながった。
  - 在留外国人の国籍や言語に対応した外国語資料、支援者や雇用主、地域住民が活用できる資料の充実が必要。
- ②情報活用のサポート**
  - 在留外国人に向けて、資料のPRや活用講座を実施したことで、利用登録や貸出しなどにつながった。
  - **常設展示の設置により、分類順に分かれて排架されていた外国人向けの本と、周りで支える日本人向けの本を集約でき、利便性が向上。報道で取り上げられたほか、関係機関への周知により広くPRでき、利用につながった。**
  - **外国人を雇用する企業と協力して、新たに活用事例まんがを作成した。** また、イベント「秋の高知ベトナム交流会」へ出展。
  - 高知県国際交流協会発行の在留外国人向け広報紙「Tosa Wave」で図書館が特集された。取材に併せて図書館ツアーを実施。
  - 利用の拡大に向けて、広報の充実が必要。
- ③他機関等との連携**
  - 外国人や関係機関が多く参加するイベントに出展することで効果的に図書館のPRができ、**関係機関との協力体制を構築できた。**
  - オーテピアでのイベントで使用した展示物を利用し、市町村立図書館が展示・講座等を実施するなど県内の多文化サービスを広げるきっかけ作りをした。
  - 在留外国人向け図書館サービスはまだ認知度が低く、継続的なPRが必要。
- ④各種催しなどの実施**
  - 国際交流員等（イベント主催者）に団体貸出を初めて利用いただくなど、関係機関による図書館の利用につながった。また、関係機関と協力することで、イベントのテーマや言語、文化を幅広く取り上げることができた。
  - より多くの在留外国人に多文化交流の場として図書館が有効であることを知ってもらい、イベント情報が届くように、広報の工夫が必要。



高知で「くらす」×「はたらく」展示

## 今後の取組

- ① 「戦略」に係る予算を併用し、紙・電子両方の資料の収集や展示を継続。  
・多文化サービスの対象となる団体に対して継続的に広報を実施。
- ② 在留外国人向け図書館活用講座を継続。  
・多読資料の配架方法の検討。  
・在留外国人に向けた、図書館利用促進のためのPRの実施（各種広報媒体の活用等）。  
・多言語版おすすめ本アンケート用紙設置。
- ③ 多文化サービスを支援する図書セットについて、市町村立図書館等からの需要に合わせて拡充を図る。
- ④ ベトナムふれあい体験（県文化国際課）、国際ふれあい広場2024（高知県国際交流協会）、秋の高知ベトナム交流会（高知ベトナム交流会）へ出展予定。

## 主な連携先

高知県国際交流協会、県文化国際課、県雇用労働政策課、市総務課、高知県外国人生活相談センター（ココフォーレ）、JICA高知デスク、（一社）高知ベトナム交流会 等

## 特記事項など

県内図書館等の課題解決支援サービス取組事例をまとめたチラシ「図書館サービスのヒント集 No. 1在留外国人への図書館サービス編」作成。  
(図書館協会事業)

## 3-【4】図書館利用に障害のある人へのサービス

### 概要

○オーテピア高知声と点字の図書館と連携し、図書館利用に障害のある人に配慮したサービスを提供するとともに、サービスの積極的なPRを行います。  
○多様な資料やサービス、コミュニケーション手段により、ユニバーサル・デザインの考えに沿った利用しやすい環境を整えます。

### サービス指標

宅配貸出サービスの利用件数  
対面音訳サービスの利用件数

	R 5年度 (R6.3/31現在)	R 8年度目標 (見直し前)
宅配貸出サービスの利用件数	81件	60件
対面音訳サービスの利用件数	1,081件	1,200件(780件)

### 主な取組 (R5.4/1~R6.3/31)

- ①バリアフリー資料の収集・提供**
  - ・春野高等学校からオリジナル布絵本の寄贈を受け、展示を行った(2月)。
- ②イベント**
  - ・7/30、1/28 手話で楽しむおはなし会(協力:聴覚障害者協会)
  - ・9/23 手話言語の国際デーに関するイベント(主催:県障害福祉課)
  - ・9/23 読書バリアフリー研究会(主催:伊藤忠記念財団)※声と点字の図書館と共同開催
  - ・11/12 バリアフリー映画会※声と点字の図書館との共同事業
- ③対面音訳ボランティアの養成**
  - ・8/5からボランティア養成講座(連携:声と点字の図書館)を実施。
  - ・7/16に読みの調べ方講座、12/10に対面音訳ボランティアスキルアップ研修を実施。
- ④サービス対象者への広報**
  - ・11/17~11/18高知ふくし機器展、12/10障害者週間の集い、1/19発達障害者就労支援実践セミナー、1/31発達障害に関する実践報告会にて出前図書館を実施。
  - ・11/29、1/18ルミエールオンラインサロンにてサービス紹介を実施。
  - ・高知県教育だより「夢のかけ橋」にバリアフリー資料の紹介記事を掲載。(2月号)
  - ・動画版手話で楽しむおはなし会動画(3本目)を作成。

### 成果と課題 (○:成果 ■:課題)

- ①バリアフリー資料の収集・提供**
  - 布絵本の贈呈式と展示の様子が高知新聞社に取り上げられ、バリアフリー資料について、多くの県民・市民に広報することができた。
- ②イベント**
  - バリアフリー映画会:参加者40名。  
障害の有無を問わず幅広い世代の参加があり、アンケートでは「バリアフリー映画のよさを知った」という感想があった。
  - 障害者本人の参加がさらに増えるよう、広報の方法などについて工夫が必要。
- ③対面音訳ボランティアの養成**
  - 対面音訳ボランティアスキルアップ研修:15名参加。  
毎年実施することにより、ボランティア活動に必要な知識や技術向上の機会を提供している。
- ④サービス対象者への広報**
  - 宅配貸出サービスの新規利用者が増加(7名)した。
  - 今後も、障害者やその支援者、関係機関等情報を届けるため、多様な媒体での広報や訪問など、PR方法を考えていく必要がある。

展示「春野高校生徒から今年も寄贈いただきました！  
みんなで楽しもう布絵本・手袋シアター」



11/12バリアフリー映画会



12/10「障害者週間の集い」出前図書館



1/28手話で楽しむおはなし会

### 今後の取組

- ① ・バリアフリー資料の収集、展示を継続。  
・ブックリストの作成、更新を継続。
- ② ・7/28、1/26手話で楽しむおはなし会。
- ③ ・読みの調べ方講座、スキルアップ研修を、声と点字の図書館と連携して実施。
- ④ ・市町村立図書館、特別支援学校等への訪問によるPRを継続。  
・当館のSNSや庁内電子掲示板、ケーブルテレビなどでサービス紹介の実施を継続。  
・動画版手話で楽しむおはなし会動画(3本目)の公開。

### 主な連携先

県障害福祉課、県聴覚障害者協会、県療育福祉センター、ルミエールサロン、高知声と点字の図書館

### 特記事項など

- ・高知県読書バリアフリー計画の策定



## 4-【1】市町村立図書館等への支援 (県立図書館機能)

### 概要

- 協力貸出等の物的支援と市町村職員を対象にした研修事業等の人的支援により、県全体の図書館サービスの充実と職員のスキル向上に取り組みます。
- 東部・中央・西部の各ブロックの担当職員を置き、課題解決支援サービスのノウハウを共有するなど、各市町村の状況等に応じた支援を行います。

### サービス指標

協力貸出点数

R 5年度 (R6. 3/31現在)	R 8年度目標(見直し前)
40,319点	40,000点(35,000点)

### 主な取組 (R5. 4/1~R6. 3/31)

- ①巡回訪問や依頼訪問等による支援**
  - ・図書館室等の運営支援のため巡回訪問を実施。
  - ・図書館振興計画の目標達成に向け、県生涯学習課と定期的な打ち合わせを実施。 **新規**
- ②情報提供**
  - ・ブログやメールによる情報発信を強化。
  - ・巡回訪問や研修時に当館のサービスを紹介。
  - ・「高知県内図書館協力マニュアル」を改定。
  - ・四万十町移動図書館車の報告・見学会を実施。
- ③研修の実施**
  - ・図書館等の職員のスキルアップ向上を目的とした図書館サービス研修(5回)、ブロック別研修(3地区延べ5回)、どこでも研修(5回)を実施。
  - ・巡回訪問時に研修動画を紹介するなど、遠隔地等の職員の自己啓発を促進。
- ④課題解決支援サービス実施への協力**
  - ・物流システムの活用や協力レファレンス等により、図書館等へ資料を提供。
  - ・各市町村の課題に応じ、情報・資料を提供。
  - ・「戦略」に係る新規予算に基づき、市町村から要望のあった資料を収集。(日本語多読資料、日本語学習資料、外国語資料の追加) **新規**
  - ・がん・認知症啓発に関する巡回展示を実施。
  - ・県内図書館等の課題解決支援サービス取組事例をまとめたチラシを作成。(図書館協会事業) **新規**
- ⑤移動図書館による支援**
  - ・除籍作業等により蔵書の構成の見直しを実施。

### 成果と課題 (○：成果 ■：課題)

- ①巡回訪問や依頼訪問等による支援**
  - 図書館等からの求めに応じて、逐次刊行物のデータ登録方法(土佐町)や電子書籍サービスに関する情報を提供することで、市町村の業務をサポートできた。また、巡回訪問を通して把握した図書館等の実態や課題等を、**県生涯学習課と共有するとともに、同行訪問により、所管行政へ働きかけを行った(土佐市)。**
  - 利用の少ない図書館室等について、担当者間での情報共有と対策の検討が必要。
- ②情報提供**
  - 機会をとらえ、**適切な情報提供と提案を行うことで、セット貸出等の利用につながった。**
  - 職員に、普段からブログを見てもらうための工夫が必要。
- ③研修の実施**
  - 参加申込・受付を電子化することで、業務の効率化が図れた。
  - 中堅研修では、参加者が勤務する図書館の統計データの分析や他館との比較を通して、**自館の現状を確認するとともに、地域課題へと目を向ける機会が提供できた。**
  - 佐川町立図書館からの求めにより、当館のいきいき音読倶楽部について研修を実施。実施方法や動画活用のノウハウを共有した。
- ④課題解決支援サービス実施への協力**
  - 新たなサービスの開始や啓発展示の実施など、**取組の強化・創出につながった。**(芸西村等での日本語サロンでの図書展示、四万十市等でのイベント実施にあたり関係機関の紹介、外国人材雇用主対象の出前図書館の実施等)。
  - 巡回展示には、20を超える図書館等の参加があった。関係機関から提供いただいたチラシやパンフレットの送付が好評であった。
  - 県読書バリアフリー計画の策定が進んでいる状況もあり、声と点字の図書館と連携を密にし、県内図書館の環境整備・バリアフリーサービス創出を促していく必要がある。
- ⑤移動図書館による支援**
  - 図書館未設置町村を中心に資料提供ができた。
  - 図書館未設置町村への重点化に向けた検討が必要。



図書館サービスのヒント集No.1「在留外国人への図書館サービス編」

### 今後の取組

- ① 県生涯学習課と取組方針や情報を共有する機会を継続して設ける。
- ・市町村立図書館別の各館の課題を踏まえたカルテを作成。
- ② ブログ等での情報発信を継続。
- ・県立図書館による様々な支援が一目で分かるよう、市町村立図書館等職員向けの説明資料を作成。
- ③ サービス研修初任者向け「総合」「児童サービス」「広報」、中堅職員向け「ビジネス支援」、専門研修「医療健康情報の提供」予定。
- ・ブロック別研修会「バリアフリーサービス」入門編・実践編の実施を予定。
- ④ 当館作成のパスファインダーひな形を図書館等に提供。
- ・課題に合わせて情報や資料を提供。特に、外国人材の確保・活躍に関する分野について、図書館等のニーズも考慮し、資料の充実を図る。
- ・「図書館サービスのヒント集」チラシの第2段の作成を検討。(図書館協会事業)
- ⑤ 各市町村の図書館整備状況等を考慮しながら、図書館未設置町村への重点化を図る。

### 特記事項など

- ・新図書館支援の予算に基づき、香美市立図書館への資料面での支援を実施。

# 4-【2】高知市全域サービスの拠点 (市民図書館機能)

**概要**

- オーテピア高知図書館(本館機能)と6つの分館、15の分室、2台の移動図書館が一体となり、高知市内全域で図書館サービスを展開します。
- 児童生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を支えられるように、高知市内の小・中学校、義務教育学校、特別支援学校との連携・協力を強化します。

**サービス指標**

	R 5年度 (R6.3/31現在)	R 8年度目標 (見直し前)
分館・分室・移動図書館利用者数	287,364人	31万人(28万)
分館・分室・移動図書館貸出点数	1,290,505点	1,363,000点(1,316,000点)
市内小中学校等への団体貸出点数	9,960点	11,200点

## 主な取組 (R5.4/1~R6.3/31)

- ① 学校図書館との連携**
  - ・高知市立学校教職員向けの団体貸出を開始 **新規**
  - ・高知市学校図書館支援員研修 (5/10、10/24) で講義を実施。
  - ・学校図書館や各学級に対するセット貸出などの団体貸出の実施。(教科書改訂に伴い更新)
  - ・高知県書店商業組合との共催で児童図書優良図書展示会及び学校図書館支援員・司書教諭向け講演会(7/30~8/2)を開催。市学校教育課と連携して広報を実施。
- ② 分館・分室、移動図書館の活性化**
  - ・2分室の登録者や貸出数を分析したカルテを作成。**カルテを基に分室職員と協議し、活性化のための取組を実施。**(蔵書構成の検討、館外での図書展示、団体への声かけ等) **新規**
  - ・地域住民に**分室の存在をPRするためのチラシ・ポスター**を新たに作成、配布。 **新規**
  - ・市民図書館職員を対象とした各館を巡るシールラリーや本館職員による定期訪問の実施。
  - ・本館資料の活用展示(コテピア)を拡充。健康・安心・防災情報サービスに加え、ビジネス支援サービス分野の展示を開始。みませ分室及び長浜分館で視聴覚資料の展示を実施。 **新規**
  - ・分館・分室による取組発表を実施。
- ③ 接遇力や利用サービスの向上**
  - ・基本業務研修の年間計画を策定し、毎月の業務協議研修会の際に実施。研修資料やレファレンスツールを整理して共有。
  - ・研修資料を基に新任者マニュアルを作成。 **新規**

## 成果と課題 (○：成果 ■：課題)

- ① 学校図書館との連携**
  - 10/24の学校図書館支援員研修でGIGAタブレットを使った電子書籍の利用について講義を実施し、電子図書館等の利用の増加につながった。
  - 高知市立学校教職員向け(高校除く)の団体貸出の開始に伴い、小中学校9校から利用があり、**学校教職員の業務や授業研究に役立つ資料の提供**につながった。
  - 高知市立学校教職員向け(高校除く)の団体貸出の周知が不足。また、従来の学校向けの団体貸出との区別が必要。
- ② 分館・分室、移動図書館の活性化**
  - **カルテ作成により各館の強みと弱みが明確になり、活性化のための具体的な取組ができた。実施した取組に対して良い反応があり、分室職員の意欲向上につながった。**
  - **公民館施設利用者に向けた出前図書館や展示の実施により、ターゲットに応じた情報提供ができた。**
  - 本館職員が訪問時に提案や助言を行うことで、利用者が使いやすい環境が整った。
  - 本館資料の活用展示(コテピア)は、月に300冊を超える利用があり好評。視聴覚資料は、みませ分室で29回、長浜分館で99回の貸出があり、コテピアをきっかけに本館の視聴覚コーナーが利用された事例もあった。
  - 分館・分室の相互交流が活発化し、他館の良い部分を取り入れるなどの業務改善が行われ、図書館サービスの向上につながった。
  - 交流型の基本業務研修(選書)では、職員間の活発な意見交換につながった。
  - 分館・分室における団体貸出について、利用しやすい方法の検討が必要。
- ③ 接遇力や利用サービスの向上**
  - 分館・分室職員の基本業務の習得機会や調査能力の向上に資する環境を構築できた。
  - **業務協議研修会での「認知症対応研修」がきっかけとなり、地域の包括支援センターと分館・分室につながりができた。**
  - 均一なサービスを目指すため、分館・分室の職員が使いやすいようにマニュアルを改訂して周知することが必要。

コテピア (視聴覚資料)



分室PRチラシ、ポスター

## 今後の取組

- ① 新入生についても、高知県電子図書館への登録を継続。(令和4年度：20,537件、令和5年度：3,285件 ※新入生のみ)
- ② 本館職員の訪問や、毎月の業務協議研修会での分館・分室による取組発表を継続して実施。カルテを活用した活性化のための取組の検討、実施後の検証を随時実施。視聴覚資料版コテピアを継続して実施。職員間の交流の機会を増やす取組を検討。**オーテピア高知図書館で分館・分室の紹介展示を実施。**
- ③ 分館・分室職員向けのマニュアルを改訂。**本館職員による分館・分室への1日インターンシップを実施。**

## 特記事項など

- ・高知市地域共生社会推進本部防災福祉部会(市の横断的な組織)の勉強会で図書館活用講座を実施(5月)
- ・GIGAスクール構想推進事業で5分館にオンライン学習用のwi-fiルータを設置(7月)



## 4-【3】県立学校図書館等との連携・協力（県立図書館機能）

### 概要

- 生徒たちが読書を楽しみ、自ら必要な資料・情報を探し活用して学ぶ力を身につけるための支援を学校図書館と連携・協力して行います。
- カリキュラムや生徒のニーズに対応する資料の収集・提供等により、生徒の学びを支えとともに、教職員等に対する研修や講座等を実施します。

### サービス指標

団体貸出点数

R5年度（R6.3/31現在）

4,786点

R8年度目標（見直し前）

10,000点(2,200点)

### 主な取組（R5.4/1～R6.3/31）

- ① 学校への資料の貸出しやレファレンスへの協力
  - ・「県立学校との連携・協力」に係る新規予算に基づき、デジタル、グリーン、グローバルの各分野の資料を収集。
  - ・**県高等学校課主催の情報科教育研修において、「情報」科に関する図書セットの団体貸出について説明。**
  - ・起業家教育プログラムや高知工科大学による特別授業に合わせて、関連資料を学校へ団体貸出。
  - ・教職員の校内研修に関連する資料を団体貸出（伊野商業高校、高知東高校）。
- ② 学校や関係機関との連携の実施
  - ・当館においてパネル展を1校、連携展示を4校が実施。
  - ・県高等学校振興課主催の講演会「高知の教育の進む道」で出前図書館を実施。
  - ・訪問等の機会に「高知県電子図書館」の利用登録と探究成果物の掲載を周知。
- ③ 図書館活用講座等の実施
  - ・**高知中央高校看護学科の生徒を対象に医中誌webデータベース講座を実施。** **新規**
  - ・山田高校グローバル探究科の生徒を対象に図書館活用講座を実施。
- ④ 学校司書等の研修への協力
  - ・産業教育研究会商業部会や情報科教育研修においてサービス説明を実施。 **新規**
  - ・司書教諭及び司書の指導力向上事業に係る研究協議会においてオンライン講座を実施。

### 成果と課題（○：成果 ■：課題）

- ① 学校への資料の貸出しやレファレンスへの協力
  - 各校の取組や動向を把握して個別にアプローチすることで、学校が必要としている資料を提供することができた。
  - **特定教科の悉皆研修において、図書セットの展示やサービス説明を行うことにより、全校の教職員への広報ができた。** また、学校からの要望を聞くことができた。
  - 各校の特色に応じて、令和5年度に作成した図書セットの紹介を行ったことにより、昨年度の貸出実績を上回った。
    - デジタル、グローバル、グリーンの各分野の図書セットの周知が必要。
    - 教科教育に役立つ電子書籍の充実が必要。
- ② 学校や関係機関との連携の実施
  - パネル展や連携展示により、各校の特色ある取組を来館者に紹介することができ、学校のPRにつながった。
  - 市町村立学校や私立学校を含め、「高知県電子図書館」の利用登録が進んだ（令和5年度県立学校新規登録27校3,708人。累計11,876人）。また、探究学習成果物133点を掲載できた。
    - 「高知県電子図書館」の利用登録を行っていない学校への働きかけが必要。
- ③ 図書館活用講座等の実施
  - 教科教育に沿ったより実践的なデータベース講座を実施することができた。
  - 図書館での情報の探し方や情報リテラシーに関する理解を広めることができた。また、探究テーマに関連する資料を講座で紹介することで、貸出しにつながった。
    - モデル校を対象として、学科や学年の年間指導計画に沿った図書館活用講座を実施することが必要。
- ④ 学校司書等の研修への協力
  - オンライン講座の実施により全ての学校司書に対して効率的に取組を周知できた。
  - 学校司書以外の教職員に対して、さらなるサービスの説明が必要。



データベース講座  
(6/28高知中央高校看護学科)

### 今後の取組

- ① 団体貸出につながるよう、校内研修や研究部会において図書セットを展示し広報を実施。
  - ・利用実績のある学校を主な対象として、学校司書等の関係教職員にセット図書の授業での活用を提案。
  - ・学習に役立つ電子書籍を充実させるため、次年度の購入に向けた選書を実施。
- ② 県高等学校課と情報共有をしながら、未登録校を訪問し登録を促すとともに、端末を持参しデモンストレーションを行うなど、「高知県電子図書館」や「KinoDen」の活用方法をPR。
- ③ 特色ある学科を有する学校を主な対象としてデータベース講習会を企画し、学校訪問の際に提案。
  - ・学科や学年ごとの年間指導計画に沿った図書館活用講座の実施。
- ④ 教職員を対象にしたサービス説明を校内研修や研究部会で実施できるよう、学校訪問の際に打診。
  - ・校内研修会等で教職員の自己啓発等に役立つ資料の貸出しができるよう、実習助手を通じて学校図書館と協力。

### 特記事項など

- ・高知警察署との共催で就職相談会を実施。
- ・2月に実施される山田高校グローバル探究科最終発表会に出席。

# 4-【4】大学等の教育・研究機関等との連携・協力

## 概要

○教育・研究機関に対して、当館の有する資料・情報を生かし、ニーズや必要性に応じて活動をサポートします。  
 ○多くの人に利用されている当館の強みを生かし、イベント等の共催や、広報活動の支援などにより、相乗的な効果が発揮できるように積極的に連携を進めます。

### 主な取組 (R5.4/1~R6.3/31)

※個別サービスでの取組は各サービスのシート内に掲載

#### ①大学等の教育研究機関との連携

- 高知工科大学の留学生向けのメルマガに寄稿。利用案内(英語版)を配布。
- 高知県立大学の授業の一環として、見学及び図書館の活用方法についての案内を実施。
- 土佐リハビリテーションカレッジと連携講座や、学生対象の図書館活用講座を実施。
- 高知リハビリテーション専門職大学と連続講座や連携展示を実施。
- 9月の「がん征圧月間」・「世界アルツハイマー月間」に合わせて、県内の大学図書館等で巡回展示を実施(4館)。
- 高知大学学術情報基盤図書館との相互協力協定の再締結に向けた協議を実施。** 新規

#### ②出前図書館等での資料の紹介・提供

- 連携講座の会場で図書館のサービスの説明や資料の貸出しを実施。

#### ③アウトリーチ・サービスの実施

- 高知リハビリテーション専門職大学との共催イベントについて、今後の連携強化に向けた意見交換を実施。

#### ④学生ボランティア等との協働

- 高知学園短期大学幼児保育学科保育研究会による読み聞かせや本の修理、壁面デコレーションを実施。
- 高知県立大学「オーテピアンズ」による当館SNSでの情報発信。11/23「全国高等学校ビブリオバトル2023高知県大会」での運営協力。

### 成果と課題 (○：成果 ■：課題)

#### ①大学等の教育研究機関との連携

- 学生に対して、図書館の活用方法について伝えることができた。
- 継続的に連携事業を行うことで、各大学の取組の周知や利用者への医療健康情報の提供に寄与した。
- 図書館活用講座の参加者が、講座受講後に利用カードの登録や電子図書館の利用申請をするなど、その後の利用拡大につなげることができた。
- 連携先が限定的になっており、拡大に向けての検討が必要。

#### ②出前図書館等での資料の紹介・提供

- 学生を対象にした図書館活用講座を継続的に実施することができ、取組が定着した。

#### ③アウトリーチ・サービスの実施

- 連続講座の実施に先立って意見交換を行ったことで、広報や参加者に対する図書館PRの方法等の改善を図ることができ、出前図書館の利用増につながった。
- 大学の専門性を生かした連携のあり方について、踏み込んだ協議が必要。
- 高知健康科学大学との連携に向けた協議が必要。

#### ④学生ボランティア等との協働

- 学生の専門知識や企画力を生かした活動が、図書館サービスの充実につながった。
- 活動を通して、保育の現場で役立つスキルを身につける機会の提供するとともに、卒業後も図書館を利用してもらえるよう図書館サービスや本の紹介をした。
- 当館SNSに学生の視点で投稿してもらうことで、本の紹介や当館の魅力を親しみやすく発信できている。
- 高知県立大学「オーテピアンズ」の4回生2名が、当館での活動を評価され、令和5年度学長賞を受賞した。



高知リハビリテーション専門職大学との連携展示



高知学園短期大学保育研究会によるボランティア活動

### 今後の取組

- ① 連携実績がない大学等に対して、アウトリーチによる働きかけを実施。  
 ・ 高知大学学術情報基盤図書館との相互協力協定については、令和6年度当初の再締結に向けて調整。(4/1締結) 新規
- ② 資料のさらなる貸出しにつながるよう、講座の内容に即したブックリストの作成等を検討。
- ③ 各大学等の図書館や関係部署を訪問し、各館の取組状況や意向等について情報収集・意見交換を実施。  
 ・ 2024年開学の高知健康科学大学(旧土佐リハビリテーションカレッジ)については、開学後の状況を踏まえながら、連携に向けた協議の機会を設ける。(4/26県図書館協会入会) 新規
- ④ 学生の専門性や企画力を生かした活動を引き続きサポートする。

### 主な連携先

高知工科大学、高知リハビリテーション専門職大学、**高知健康科学大学**、高知大学医学部、高知工業高等専門学校、高知学園短期大学

### 特記事項など



# 4-【5】 中心市街地活性化への寄与・周辺施設との連携

## 概要

○オーテピア高知図書館の資料・情報、司書の専門性、利便性の高い立地といった資源を活用し、中心市街地の活性化に寄与します。  
○文化施設等の周辺施設と連携・協力し、各施設の強みや機能の充実・強化を図り、互いの施設の利用促進や情報発信等につなげます。

### 主な取組 (R5.4/1~R6.3/31)

- ① 個々の商店や商店街全般に役立つ図書等の収集・提供
  - ・「お店の経営に役立つブックリスト」を作成。協同組合帯屋町筋から商店街の方へ配布。**新規**
- ② 観光情報の収集・発信
  - ・NHK連続テレビ小説「らんまん」関連の展示を関係団体と連携しながら実施。
  - ・よさこい祭りに合わせて関連展示を実施。祭り開催期間中は、1階エントランスの開館時間を延長し、休憩場所として開放。
- ③ 商店街や日曜日等の情報発信
  - ・1階の日曜日PRポスターについて、より来館者の目を引くような掲示方法に見直し。
- ④ 商店街との協働
  - ・土曜夜市(7/1)、龍馬生誕祭(11/15)まちゼミ(11/25)に参加。
  - ・川柳コンテスト(オーテピア5周年事業)で協同組合帯屋町筋の協力を受け、特別賞を授与。
- ⑤ 図書館サービスのPR
  - ・協同組合帯屋町筋の通常総会懇親会に参加。(5/29)
  - ・全国商店街振興組合連合会が主催する「商店街創生セミナー」(2/7)で事例を発表。
- ⑥ 文化施設との連携
  - ・11/19に開催された「第7回お城下文化の日」に参加し、各種イベントを実施。

### 成果と課題 (○：成果 ■：課題)

- ① 個々の商店や商店街全般に役立つ図書等の収集・提供
  - 商店街振興に役立つ選書を継続して行ったことで、経営や販売に関する資料にアクセスしやすい配架になっている。また、ブックリストを作成・提供することで、商店街の方へ図書館資料をPRできた。
  - 継続的にニーズを把握していくため、イベント等の機会をとらえて商店街の方々との交流を続けていくことが必要。
- ② 観光情報の収集・発信
  - 「らんまん」関連展示で牧野富太郎ゆかりの資料や場所等を紹介し、県内の関連地域等のPRに寄与できた。
  - 関連展示等を通して、よさこい祭りの賑いに貢献できた。
- ③ 商店街や日曜日等の情報発信
  - 館内で日曜市のポスターやパンフレットを設置し、日曜市のPRに寄与できた。また、設置に対する反響を関係部署と共有することで連携が深まった。
- ④ 商店街との協働
  - 土曜夜市や龍馬生誕祭では、ブースに多くの方が立ち寄り、商店街の賑わいに寄与できた。また、オーテピアのロゴ入り景品やリサイクル図書の配布などを行うことで、これまで来館したことがない方にも当館のPRができた。
- ⑤ 図書館サービスのPR
  - 帯屋町商店街の関係者と定期的なつながりを持つことで、図書館のPRができた。
  - PR方法について引き続き検討が必要。
- ⑥ 文化施設との連携
  - 「お城下文化の日」にて一般の方への除籍資料の譲渡を行った(1,637冊)。また、関連イベント「お城下まちあるき」では、他施設の職員と協力して城下町の史跡等を紹介できた。



「らんまん」関連展示



ブースにたくさんの人が立ち寄る土曜夜市



まちゼミ  
(オーテピアアプリ活用講座)

### 今後の取組

- ① 商店街の振興を意識した資料の収集・提供を継続。商店街の方々と交流を深め、資料のニーズを把握。
- ② 展示等を通じて、引き続き観光情報を発信。NHK連続テレビ小説「あんぱん」(令和7年度前期放送)に関連した展示を実施予定。
- ③ 日曜日PRポスターや商店街に関するパンフレット等を継続して掲示・配布する。  
・まちゼミ展示関連を実施予定(11月)
- ④ 土曜夜市に参加予定(7月)  
・龍馬生誕祭に参加予定(11/15)  
・まちゼミに参加予定(11月)
- ⑤ まちゼミの説明会など、機会をとらえて、商店街の方へ図書館サービスをPRする。
- ⑥ 文化施設との連携に継続的に取り組む。  
・お城下文化の日(11/17)に参加予定。

### 主な連携先

市文化振興課、市商業振興・外商支援課  
協同組合帯屋町筋、高知商工会議所、  
高知お城下文化施設の会

### 特記事項など

市シェアサイクル「PiPPA」駐輪ポートとして  
オーテピア遊歩道の一部を提供(7/14~)。